

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈6月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人
起業型▷8人 協働型▷7人 スポーツ▷1人

起業型協力隊

みと ふみお
三戸 史雄さん

着任：令和7年4月（1年目）
出身：旭川市



—これまでの経歴について教えてください。

高校卒業後に東京の映画系専門学校へ進学しました。映画を作りたいという漠然とした思いからでしたが、当時の日本映画業界は不況で、制作現場の待遇は非常に厳しい状況でした。そこでテレビ業界に目を向け、旭川の映像プロダクションに入り、テレビ業界のカメラアシスタントとしてスタートしました。その後、カメラマンとなり、札幌の映像プロダクション会社に転職して、テレビ番組のロケやドキュメンタリーの撮影を中心に約20年間勤務しました。後半は管理職として若手育成にも関わりました。

—厚真町に来たきっかけは？

50歳を迎えたころ、人生の節目に「自分が本当にやりたいことは何か？」と改めて考えるようになりました。そんな時にローカルベンチャースクールを募集しているのを知りました。「これまで培ってきた映像のスキルで、地域の力に変える仕事ができるかもしれない」と考え、

思い切って一歩を踏み出して参加することになりました。

—ローカルベンチャースクールはどのような場でしたか？

ひとことと言うと「原点に立ち返る場」でした。自分がなぜ映像を始めたのか？何を伝えなかったのか？いったい何がしたいのか？を自分に問い直す時間になりました。改めて撮影することが好きなんだと気づき、これからどんなことをしたいのか、具体的に考えられるようになりました。はじめは戸惑いもありましたが、参加してみると、多様な背景を持つ人たちが集まり、年齢やキャリアを越えて、本音で語り合える空間がそこにあり、背中を押された気がします。今までとはまったく違う視点が得られた、貴重な機会となりました。

—今後の目標を教えてください。

厚真で暮らす人々の営みや想いを、映像で丁寧に記録していきたいです。地域に根差していないと撮れない映像を撮りたいです。将来的には、映像づくりに興味がある若者たちとも一緒に何かできたらうれしいですね。これまで培ってきた映像の技術や経験を、地域の中で生かしたいと考えています。厚真の魅力を内外に届ける一人になりたいと思っています。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



発表します！
将来の夢

厚真中央小学校6年

はるまさん

はるまさん

りくさん

りくさん

ひまりさん

ひまりさん

たいせいさん

たいせいさん

みおんさん

みおんさん